

OK-04

Fujitsu Experience Day Osaka 2026

FUJITSU

ServiceNow活用！ 調達業務DXの実現

富士通Japan 株式会社

2026年9月

© 2026 Fujitsu Limited

電子調達から始まる DX

散在する情報をつなぎ、公共DXを加速する

情報分断で探す・確認する作業の増加

- 自治体と事業者の双方で複数システムによる「情報分断」に直面している



自治体の課題

複数システムによる業務の複雑化

- 電子調達と関連システムの並行確認
- 担当案件の進行管理や手作業の追跡
- 事業者への個別連絡や問い合わせ対応
- 手続き遅延や処理漏れのプレッシャー



情報と接点の分断

「つながりがない」弊害

- システム散在による作業増加
- お知らせが届かない
- 見落とすリスク
- 「検索・確認」手間の恒常化



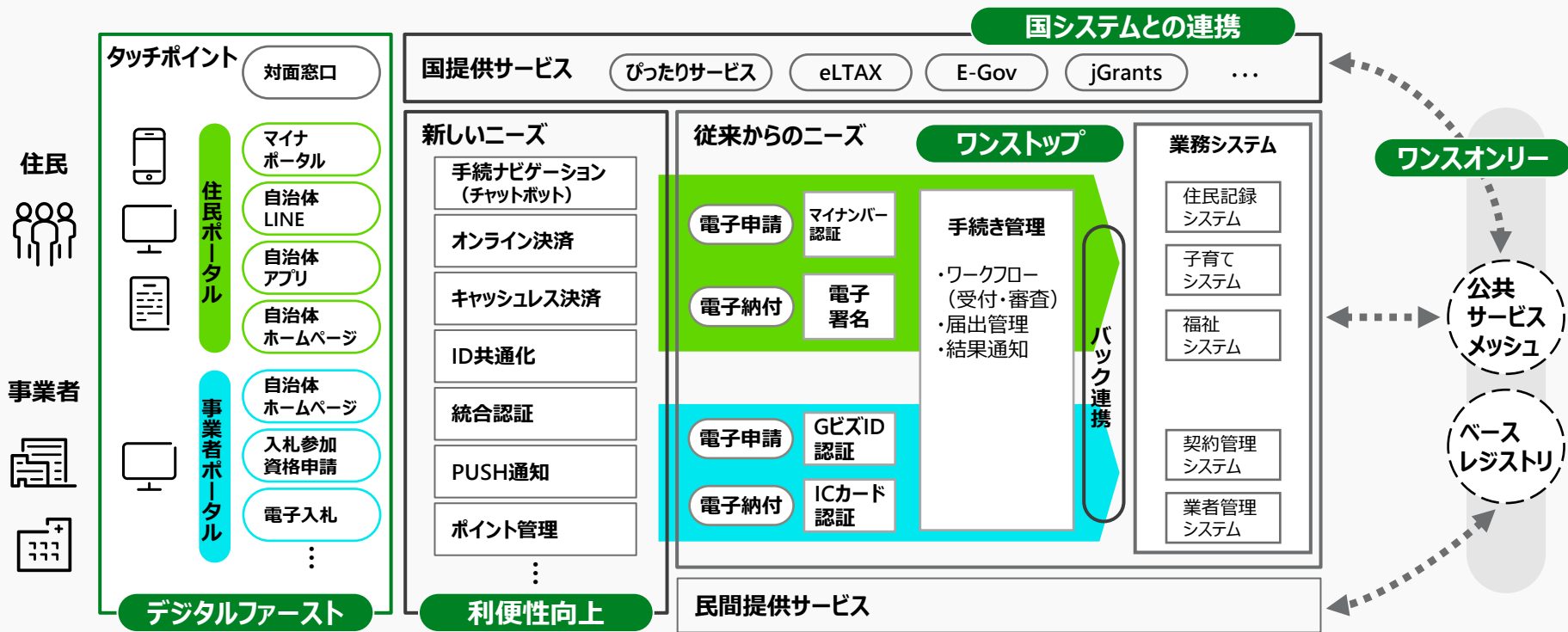
事業者の課題

手続きと情報収集 of 負担増

- 複数自治体のサイト巡回と案件検索
- 異なるID・パスワード管理
- 入札の締切や提出期限の個別管理
- 指名通知や重要なお知らせの見落とし

調達情報を一元化し、探す手間や作業漏れを無くす仕組みが必要

住民・事業者との接点に関する現状認識

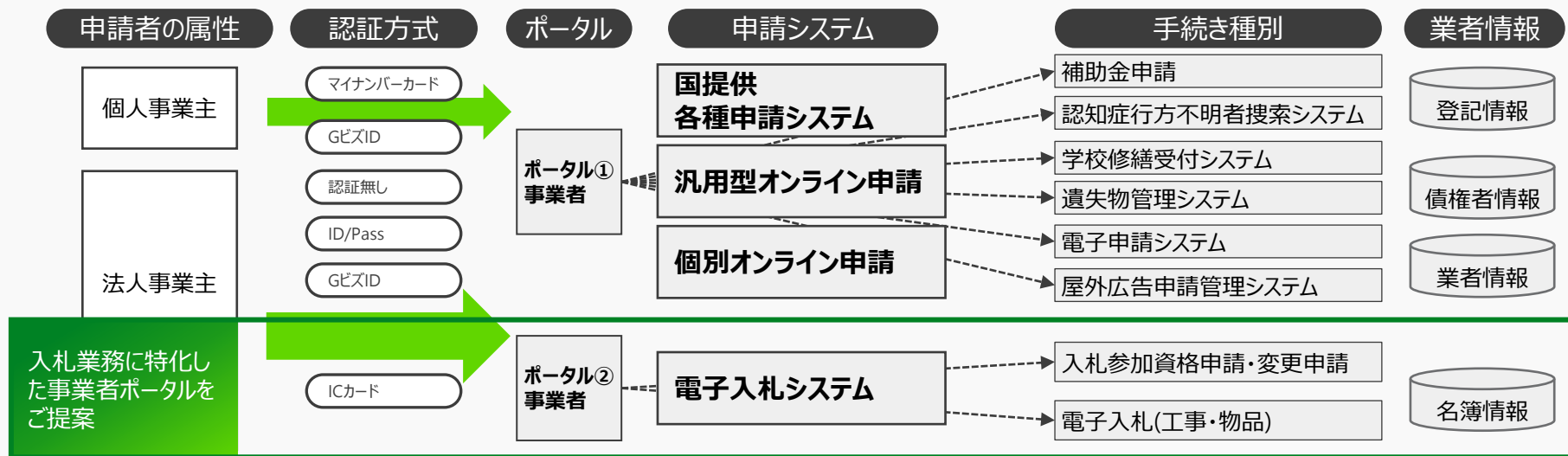


マルチチャネル化と集約するポータルのニーズ増加、利用者に選ばれるタッチポイントの最適な組合せが必要

事業者向け行政手続きについて向かうべき方向性

- ユーザビリティ向上に向け、情報発信や電子申請などサイトの集約化し全体像の整理が必要

- ①事業者行政手続き体験（UX）を改善することで利用者中心のサービスを実現
- ②システム間の連携を強化することで、全体最適を実現



申請者の属性や認証方式、手続き種別等を踏まえ、用途に合ったポータルの適切なカバー範囲をサイジング

Nexus Public DataHub

公共事業の情報集約・
データ利活用による
業務支援ソリューション

記載内容には実装予定の機能を含みます。
詳細な提供範囲や仕様は、お問い合わせください。



- 調達から契約までデータを集約・分析し、自治体と事業者へ最適な行動を届ける

自治体

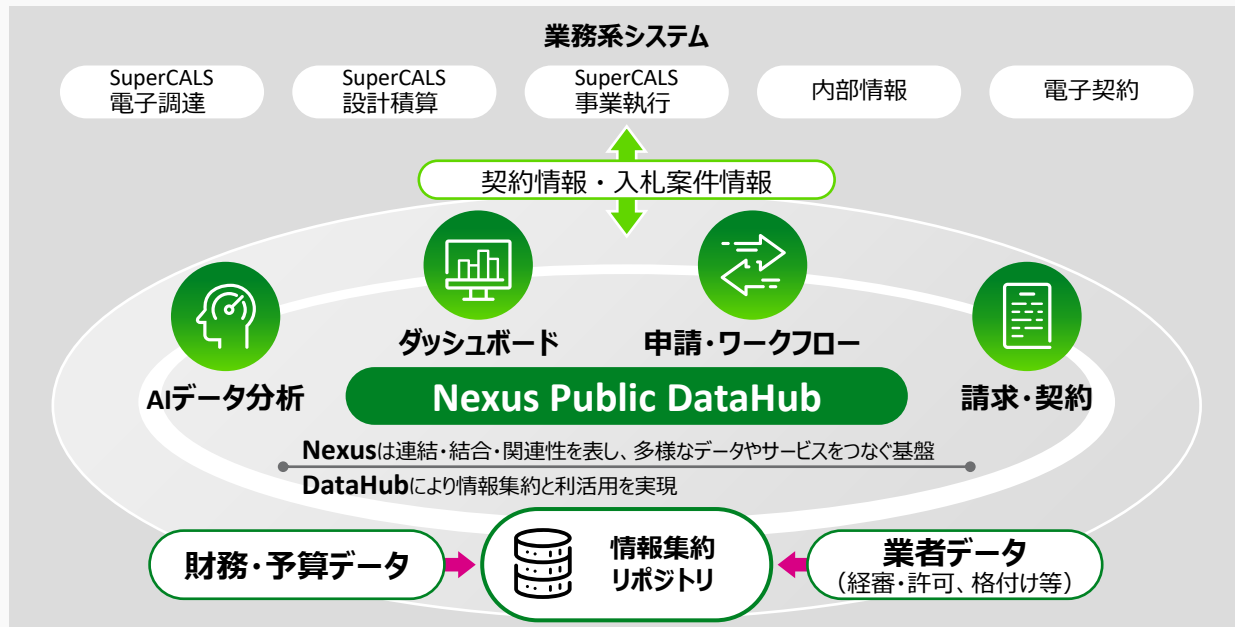
いま処理すべき業務の可視化

- ・ 案件ダッシュボード
- ・ 承認ワークフロー
- ・ 処理漏れアラート

事業者

事業者へ寄り添う業務支援

- ・ 適合案件自動マッチング
- ・ 手続期限お知らせ
- ・ GビズIDで簡単アクセス



複数システムを横断する「Nexus Public DataHub」がデータを統合

職員様には「いま処理すべき業務」が見える

- 担当案件のステータスや期限を自動整理し、承認や処理の漏れを防ぐ

自治体ダッシュボード（画面イメージ）

契約・調達課

電子入札

当日の入札締切案件

1件

〇〇庁舎機械設備工事

案件番号:XXXXXXXXXXXXXXXXXX-00

電子入札

明日の開札執行案件

1件

県営住宅第△期地盤調査業務委託

案件番号:XXXXXXXXXXXXXXXXXX-00

お知らせ

電子入札仮登録案件数

28件

入札情報サービス 未承認案件数

3件

1 担当案件や申請状況をまとめて確認

複数システムを巡回せず、自分の関わる案件が1枚の画面に自動集約される。

2 承認、開札、定期処理の漏れを防止

タスクの締め切りや遅延リスクを検知。赤色ハイライト等で即時対応を促す。

3 条件に応じた情報発信や意見収集

案件要件を満たす事業者に対して、適切なサウンディング調査等の案内を送付できる。

探す・確認する手間をなくし、審査や判断などのコア業務に集中できる

事業者には「寄り添う業務支援」を提供

- 入札機会の創出と手続き負担の軽減など、事業者に寄り添う業務支援を提供

事業者ポータル（画面イメージ）

GビズID連携（連携予定）

おすすめ案件

申請業種における公告中案件

住宅外屋上防水改修工事実施設計業務委託
団体名：〇〇県 調達区分：委託

指名通知

【電子入札】指名通知書未確認案件

〇〇市役所本庁舎 照明LED化工事
(回答期限: 残り3日)

期限警告

経営審査情報の期限切れ警告

貴業者の経営審査情報の有効期限は
「2026-11-30」 までになっています

1 資格や登録情報に応じた案件の提案

自社の等級や過去の実績を分析し、適合する新着案件を自動的に選別・提案。

2 指名案件や重要なお知らせの確認

見落としがちな指名通知や自治体からのアナウンスを漏れなく1か所で把握。

3 経営審査情報などの期限警告

資格失効につながる経営事項審査の期日などを、警告アラートで早めにお知らせ。

4 GビズID（連携予定）によるアクセス

ログイン手続きを簡素化。
1つの共通IDで複数のシステムにアクセス。

事業者の負担を減らし、最適な入札への参加を促進する

業務効率化と入札機会の最大化を両立する

- 情報分断による入札機会損失を解消し、双方が本来の業務価値を高める環境へ

Before（従来環境）

- ・ 情報が分散し、常に「探す・確認する」作業が発生
- ・ 手作業による確認ミス、進捗遅延、重大な処理漏れリスク
- ・ 事業者の確認遅れに伴う入札参加の機会喪失

After（Nexus Public DataHub導入後）

- ・ 情報の一元化により「提案され、即座に行動できる」状態に
- ・ AI分析を活用した自動提案と、期限警告によるミス防止
- ・ 最適な案件マッチングによる入札機会の最大化

自治体への提供価値

調達業務の最適化と事務効率化

業務状況の一元管理により大幅な負荷軽減を達成。
データに基づく戦略的な意思決定を支援する環境を構築。

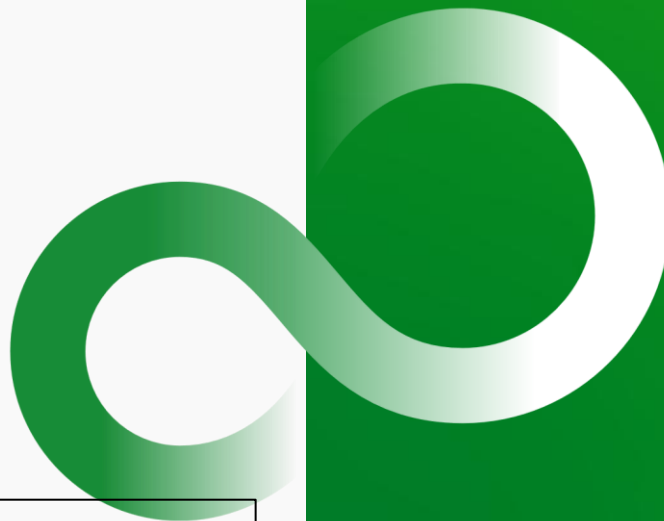
事業者への提供価値

入札機会の拡大と手続き負担の軽減

マッチング精度向上で事業者の傾向の沿った案件への参加機会が増大。
申請時期の警告等を通じて申請漏れを削減。

自治体の「事務効率化」と事業者の「UX向上」を同時に実現

Thank you



<お問い合わせ先>

富士通Japan株式会社

Public&Education事業本部

公共事業サービス事業部

メール：fjj-supercals@dl.jp.fujitsu.com